



# 平成21年度予算が成立

**能登町議会** 第1回定例会が3月2日に招集されました。会期を13日までの12日間と定め、平成21年度一般会計予算や平成20年度補正予算、条例改正などの町長提出議案40件と請願1件が上程されました。

持木町長が平成21年度施政方針、議案の提案理由を述べたあと、12人が議案について質問しました。そのあと、議案は各常任委員会に付託され審議されました。

最終日の採決では、委員長報告を受けて議案40件はすべて原案のとおり可決、請願は不採択とされました。

## ■可決した議案（40件）

### 《平成21年度予算14件》

- ・一般会計予算
- ・有線放送事業特別会計予算
- ・国民健康保険特別会計予算
- ・後期高齢者医療特別会計予算



- ・老人保健特別会計予算
  - ・介護保険特別会計予算
  - ・観光施設特別会計予算
  - ・公共下水道事業特別会計予算
  - ・農業集落排水事業特別会計予算
  - ・漁業集落排水事業特別会計予算
  - ・浄化槽整備推進事業特別会計予算
  - ・簡易水道事業特別会計予算
  - ・水道事業会計予算
  - ・病院事業会計予算
- ※平成21年度予算の詳細は、5ページから9ページの予算特集を参照してください。

### 《平成20年度補正予算9件》

- ・一般会計補正予算（第7号）
- ▼歳入歳出それぞれ5456万6千円減額し、予算総額を139億3210万5千円とする
- ・有線放送事業特別会計補正予算（第3号）

- ・国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ・観光施設特別会計補正予算（第2号）
- ・公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- ・水道事業会計補正予算（第3号）
- ・病院事業会計補正予算（第3号）

- ・能登町組織条例の一部を改正する条例について▼商工観光課を「ふるさと振興課」に名称変更し、事務分掌に「地域振興に関する事項」を追加
- ・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について▼昇給規定、時間外勤務手当の算出規定を改正
- ・能登町国民健康保険条例の

- 一部を改正する条例について▼基礎課税額の限度額を44万円から47万円に改正
- ・能登町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について▼介護報酬の改定による保険料の上昇を抑制するための基金を設置
- ・能登町介護保険条例の一部を改正する条例について▼平成21年度から23年度までの保険料の改定と介護認定審査会に関する規定の整備
- ・能登町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について▼一般廃棄物処理業の許可手数料の引き上げと内浦クリーンセンター休止に伴う規定の整備など
- ・能登町企業立地の促進等による

- る地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定について
- ・能登町企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例の制定について▼助成対象事業者に対する立地促進助成金の上限を2億円に、雇用促進助成金を1人につき50万円にする
- ・能登町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について▼入居者の選定にかかる規定の改正と暴力団員の排除規定の整備など
- ・能登町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について▼病床数を188床から120床に改正する
- ・奥能登クリーン組合規約の変更

- 更について▼内浦地区のRDF対象物搬入に伴う施設建設費負担割合の改正
- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について▼移動通信用鉄塔施設整備のため、鮭尾地区と武連地区の辺地計画を策定
- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について▼移動通信用鉄塔施設整備のため、宮地地区と猪平・俎倉地区の辺地計画を変更
- ・町道路線の認定について▼次の5路線を町道として認定①宮地4号線②宮地鮭尾1号線③石井3号線④宇出津115号線⑤国重2号線
- ・町道路線の変更について▼次の3路線の起点終点を変更①上

- 町11号線②波並宇加塚1号線③1級天坂藤ノ瀬1号線（天坂4号線から1級幹線として変更）
- ・土地改良事業の施行について▼鴨川地区の揚水機改修を平成21年度に実施する
- ・公の施設の指定管理者の指定について▼真脇ポーレポーレ、縄文真脇温泉浴場、真脇遺跡公園の運営管理について（能登町ふれあい公社を指定管理者とする。昨年度実施した公募型プロポーザルの採用がなかったため、指定期間を1年間とし、今後の活用策を検討
- 《不採択となった請願》
- ・町道の認定及び舗装について▼請願者…河ヶ谷区長高坪稔



## 委員募集 能登町行政改革 推進委員会

平成17年度に策定した能登町行政改革大綱に基づき、能登町における行政の事務改善とサービスの向上を目指しています。町は今後、さらなる行政改革を推進するために、行政改革大綱の見直しと新たな行政改革実施計画の策定を予定しています。

行政改革に町民の皆さんの意見を反映させるため、委員会に参加する公募委員を次のとおり募集します。

〈公募委員数〉 3人（委員総数は12人以内）

〈委員の任期〉 平成21年4月下旬から町長に答申が行われる日まで（22年1月予定）

〈応募の資格〉 町に引き続き1年以上居住する満20歳以上70歳未満で、次の要件を満たす人

- ①町の審議会などの委員になっていない人
- ②町の議会議員または職員でない人
- ③平日、期間中に3回程度の会議に出席できる人

〈応募の方法〉 所定の応募申込書と「能登町の行政改革に対する提言等」を事務局まで郵送、持参、FAXまたは電子メールにより応募ください。

◇「能登町の行政改革に対する提言等」は、任意の用紙により、400字程度で記述してください。

◇「応募申込書」は事務局（総務課行財政改革室）、各サービス室、各支所・出張所にあります。

◇電子メールで応募する場合、事務局に連絡（メール、電話など）があれば「応募申込書」を送信します。

〈募集期限〉 平成21年4月17日（金）まで

〈申し込み・問い合わせ〉

〒927-0492  
能登町宇出津新1字197番地1  
能登町総務課行財政改革室  
☎62-8510（直通） FAX 62-4506  
Mail: soumu@town.noto.lg.jp

# 東京へ 行こうよ!



## 能登空港 INFORMATION



羽田 ↔ 能登空港 60分



### 開港6年目 2便確保の鍵は—

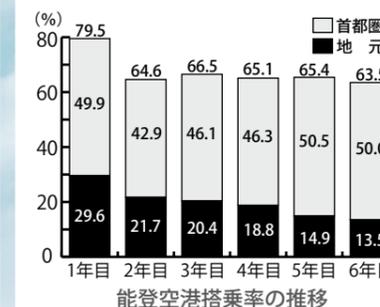
#### 搭乗率の状況



#### 全国初の搭乗率保証制度

能登空港羽田便の1日2便確保のために全国で初めて導入された「搭乗率保証制度」は、目標搭乗率を下回った場合に地元が航空会社に保証金を支払い、上回った場合に航空会社が地元へ販売促進協力金を支払うという制度です。

6年目の目標搭乗率は62%ですが、2月末現在の数値は63.5%（対前年比1.9%減）。目標達成ギリギリの状況です。\*



#### 伸び悩む地元利用率

1年目と5年目を比べると首都圏からの利用は約2万7千人増加し、地元利用が約2万人減少しています。搭乗率保証を行ってまで確保した1日2便を維持していくために、地元の利用率を上げる必要があります。

各種助成制度をうまく利用して、1年に一度は東京へ行きましょう。

※開港した7月7日を基準日とし、目標の上下4%のゾーンは支払いが発生しません。

### 空港を利用すると 助成金がもらえます

#### 助成金制度



#### ◆能登町航空運賃助成金

〈対象〉能登町に住所があり、能登空港を往復で利用した人  
〈助成額〉個人 3,000円  
団体（5人以上）4,000円  
※小人の場合は半額  
〈申請期限〉利用日から2カ月  
〈必要なもの〉

- ・申請書兼請求書（個人用・団体用）
- ・利用搭乗券（ピンク色のもの）
- ・印かん・金融機関の口座

〈提出先〉  
能都・柳田・内浦サービス室  
小木・鶴川支所  
※申請書は町ホームページからダウンロードできます。  
☎企画財政課 ☎ 62-8503

#### ◆能登空港利用促進同盟会助成金 (町の助成とは別にもらえます)

- ①能登空港首都圏研修等助成金  
往復利用する10人以上の団体で、研修や視察旅行をする場合は一人当たり3,000円を助成
- ②首都圏発交流事業助成金  
往復利用する10人以上または2回以上の合計が20人以上の首都圏の団体で、交流事業をする場合は一人当たり4,000円を助成
- ③ハッピーバスデー能登羽田便利用旅行助成金

60歳以上の人が誕生月に出発する能登空港往復の旅行に一人当たり3,000円を助成

☎能登空港利用促進同盟会 ☎ 0768-26-2366

### 能登空港をみんなで 応援しよう!

#### ウイング・ネットワーク会員募集



能登空港を応援する会員組織「能登空港ウイング・ネットワーク」の平成21年度会員を募集しています。

〈会員〉会の趣旨に賛同する石川県内外の人

〈年会費〉個人会員 1,000円  
法人会員 10,000円

〈有効期限〉平成21年4月1日から平成22年3月31日

〈入会手続き〉

申込書兼振込用紙（能登空港だより第23号内または役場各サービス室・各支所に設置）に必要事項を記入し、年会費を振り込み

- 〈会員特典〉
- ・会報誌「能登空港だより」送付
- ・ターミナルビル内レストランでコーヒー100円引き
- ・ターミナルビル売店で500円以上の買い物3回以上した人に粗品プレゼント

・同盟会助成金制度の対象  
・企画旅行参加助成（2,000円）  
・入会キャンペーンへの参加  
※6月30日までに入会した人の中から抽選で「能登空港往復利用の旅ペア招待券」が3組6人に当たる入会キャンペーンを実施しています。

厳正な抽選の上、当選者に直接連絡します。

☎能登空港利用促進同盟会 ☎ 0768-26-2366

### お得なキップを プレゼント中!

#### 京急羽得きっぷ



能登～羽田便の申し込みをした人に、先着で京浜急行電鉄の羽田空港～品川（泉岳寺）・横浜までの往復割引きっぷ「京急羽得きっぷ」をプレゼントします。

〈対象者〉往復または片道利用者  
〈有効期限〉平成21年8月31日  
〈改札方法〉有人改札口（スタンプ）  
〈受け取り〉能登地域の旅行会社または同盟会で配布  
☎能登空港利用促進同盟会 ☎ 0768-26-2366

### ゴールデンウィークは能登空港へ 遊びに行こう!

#### 能登空港イベント情報



#### ◆フリーマーケット出店募集

〈日時〉5月3日(日)、4日(月)  
10:00～15:00

※1日だけの出店も可能

〈場所〉空港前広場

〈出店数〉両日先着16店舗

〈出店料〉無料

〈申し込み〉ハガキまたはファックスに氏名・住所・電話番号・出店希望日・品目・電気使用の有無を記載して申し込み

〈申込期限〉4月24日(金) (先着)

☎ ☎ 929-2392

輪島市三井町洲衛 10-11-1

能登空港賑わい創出実行委員会

(石川県奥能登総合事務所企画振興課内)

☎ 0768-26-2303 FAX 0768-26-2305

#### ◆のとクリシマツツジ フェスティバル

〈日時〉5月3日(日)～5日(火)

9:00～17:00 (5日は16:00まで)

〈場所〉能登空港多目的広場

〈内容〉・盆栽展（樹齢60年から350年の盆栽約30鉢）・苗木販売  
・のとクリシマツツジの手入れ講習会

〈主催〉のとクリシマツツジ連絡協議会



クロマルハナバチ試験飼育研修会  
**これからの農業を見据える事業**

ハウス栽培のトマトやナスなどの受粉に利用されるマルハナバチ。主に使われていた外来種が規制され、今後は在来種であるクロマルハナバチの需要が増えると見込まれています。町は、クロマルハナバチ飼育の事業化を目指し、旧三波小学校を試験飼育生産施設として改修しています。3月8日には施設内で研修会が開かれ、約40人が事業への理解を深めました。

研修会では、板橋区ホタル飼育施設の阿部宣男施設長と武蔵野種苗園社員の綾部斗清さんが、事業化のメリットや今後の展望などについて講演しました。



CO<sub>2</sub>削減、生態系保護にもつながると話す阿部さん



厳肅な雰囲気の中、巨石の前で手を合わせる

石仏山祭り  
**原始神道を今に伝える石仏山**

神道地区の奇祭「石仏山祭り」が3月2日に行われました。石仏山は地元で「オヤマ」と呼ばれ、女人禁制の結界山として聖域とされています。社殿建築が出現する以前の原始神道を今に伝える貴重な祭祀遺跡として、昭和42年に石川県指定史跡に登録されました。

今年も変わることなく、太鼓を打ち鳴らしながら山に登った10人の男衆。神の依代とされ、前立ちと呼ばれる高さ3m、幅60cmの巨石の前で腰を下ろし、五穀豊穡と地区の繁栄を祈りました。



出来上がった料理を説明する農家民宿のおやじさんたち

春蘭の里「おやじの朝食試食会」  
**地元食材でおやじが腕を振るう**

春蘭の里実行委員会が20年度に実施してきた「春蘭の里そくさいかねプロジェクト」。その活動の一つとして、「おやじが作るおやじの朝食」をテーマに毎月料理の研修会を開催してきました。2月20日にはその集大成である試食会を宮地交流宿泊所こぶしで開催し、地元で採れる食材を使った9品の料理を完成させました。試食したおかみさんからは「おいしい」「これからもたまに作ってほしい」という意見が聞かれました。



北陸バイオマスフェア  
**バイオマスの利活用事例を発表**

北陸地域のバイオマス利活用推進のため、地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革の総括である「北陸バイオマスフェア」が2月24日に石川県地場産業振興センターで開催されました。

このフェアには約200人が参加し、優良事例報告や小学校児童による発表、パネルディスカッションのほか、昨年11月に「バイオエコ燃料発見・体験フェア in 能登」を主催したバイオエコ燃料能登(NORA)の高市範幸さんと町企画財政課の干場健太郎主事が活動報告を行いました。



能登町におけるバイオマスの展望を語る高市さん(右)と干場主事

能登町生涯学習振興大会  
**子どもの笑顔を守る愛し方を説く**

▶観客席を縦横無尽に駆け回り握手を求める廣中さん。講演中は会場が笑いや涙であふれ、子どもたちへの愛し方に対する廣中さんの心の叫びに観客らが大きな拍手で応えていました。

▼最優秀賞を受賞した3人が演題に立ち作文を披露。(國分さん:能都中2年)



3月1日に生涯学習振興大会が能都庁舎で開催され、各表彰式、記念講演会が行われました。講演会には「平成の駆け込み寺」として全国から注目を集める浄土宗・西居院の第二十一代住職の廣中邦充さんが講師に招かれました。現代の子どもたちが抱える問題に体当たりで向き合う廣中さんの生き方が語られると、集まった観客らは真剣に熱心に耳を傾けていました。

- 〈社会教育功労者表彰〉▶個人 天野 登(秋吉)野田悟一郎(宇出津)
- ▶団体 松波史談会(松波公民館)吟道錦城流都吟詠会小木教室(小木公民館)
- 〈私が町長だったら作文入賞者〉▶最優秀賞 諸井亜裕美(柳田中3年)勝木しおり(小木中2年)國分まゆ穂(能都中2年)▶優秀賞 南緑香(柳田中2年)中町幸司(小木中2年)道地佑李(鶴川中1年)宮前咲子(鶴川中1年)田中美菜(能都中2年)

子ども食育地域ワークショップ  
**食で伝えたい古里・能登の魅力**

能登町子ども食育地域ワークショップが2月28日、柳田植物公園で開催され、保育所や学校関係者など約70人が能登町での食育のあり方などについて話し合いました。

参加者はまず、田中登さん=小間生=が執行する伝統行事「アエノコト」を見学し、アエノコトにちなんだ郷土料理を味わいました。その後、県子育て支援課の沼田直子さんを進行役として、12のグループに分かれ能登町の特性を生かした食育について検討。誇ることができる能登の食文化を、連携・協力しながら子どもたちに伝えることの大切さを再認識しました。



「食べ物に対する感謝の心を伝えたい」とアエノコトを行う田中さん



土川さんの話を真剣に聞く参加者

環状木柱列の復元~ Part2  
**環状木柱列を天文学的に検証**

真協遺跡を代表する「環状木柱列」の企画展が2月21日から3月29日にかけて、真協遺跡縄文館で開催されました。

2月22日には、縄文館の高田秀樹館長が第13次発掘調査の成果と木柱列の概要について説明し、引き続き満天星職員の土川啓さんが「環状木柱列は日時計か?」というテーマで講演しました。土川さんは縄文時代の太陽の動きや木柱列をコンピューターグラフィックスで再現し、暦として使われた可能性など天文学的に検証した結果を話しました。講演会の後、参加者は展示された本物の木柱列やレプリカの説明を受けました。